

支援プログラム

事業所名： ポップチャレンじ（児童発達支援）

作成日：令和8年4月1日

法人（事業所）理念		○子どもたちの個性を理解し、世の中で楽しく過ごしていけるようお手伝いをいたします。 ○子どもたちと関わりながら生活している、保護者や周りの大人も子どもたちを中心に楽しいと思いながら過ごせる環境を作ります。 ○子どもたちの可能性を秘めたままにせず、将来社会の一員として幸せに暮らしていくための土台作りをお手伝いします。 ○幼稚園等や普段の生活からは得られない体験や刺激を『音楽』や『遊び』の中から体験し『楽しい』という気持ちを大きく育てるお手伝いをします。		
支援方針		○幼児・児童が健康で安心して生活を送れるよう、安全で衛生的な環境を整備します。 ○人と人との触れ合いの中で愛し愛され、あたたかみのある療育を提供します。 ○様々な体験を通して子どもの心を動かし、豊かな感性を育みます。 ○運動療育・体験学習を通して幼児・児童の体と脳の発達を促進します。 ○安心して預けられる場を提供するため、保護者との信頼関係を築き、子どもや家庭の状況を共有し、ともに子育てを楽しく行います。		
営業時間		9時から18時まで	送迎実施の有無	あり
		支援内容		
本人支援	健康・生活	○定期的な心身の把握。（毎日の健康観察、面談や送迎時等でのご自宅や学校での様子の確認） ○健康的な生活リズムのサポートと確立。（食事、排せつ、睡眠） ○身だしなみの整え方、衣服着脱の自立、衣服や荷物の整理整頓の方法。		
	運動・感覚	○粗大運動や、微細運動、感覚遊びを通じて姿勢の保持、基本的動作の向上を目指す。		
	認知・行動	○イラストを用いて、1日の流れを確認することで時間の認知形成を図る。 ○色や形、大きさなどがわかりやすい教材を使用し、認知機能の発達を促す。（個別療育、課題学習）		
	言語・コミュニケーション	○児童が見ているもの、感じていることを共有し職員が言葉で表現することで児童の言語習得に繋げる。 ○音楽療育を通じて体系的な言語の習得、自発的な発声を促す。 ○指さし、ジェスチャー、身振り手振り等も用いながら、基本的コミュニケーション能力の向上を目指す。		
	人間関係・社会性	○日頃の関わりの中でアタッチメント形成を行い、1人遊び→並行遊び→共同遊びへの支援を行う。 ○職員がモデルとなり他者交流の場を設け、他者の存在や他者への興味関心に繋げていく。		
家族支援		・送迎時の会話やSNSの発信などで随時情報を共有する。 ・必要に応じて面談や療育を参観する場を設け困りごとへの相談援助を行う。 ・家族・きょうだいのイベント参加 ・家族の就労等に合わせたお預かりに対応し、レスパイト支援を行う。	移行支援	○インクルージョンに向けた取組の推進 ・地域の公園、図書館、体育館を活用し、集団活動を行う。 ・保育所や幼稚園の訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施する。
地域支援・地域連携		・散歩、イベントを通して地域の方と交流・連携を図る。 ・体育館の利用や、校庭内の畑、食堂などを交流の場として開き地域とお子さんが楽しく、安心できる居場所の提供を行う。	職員の質の向上	・毎月の職員会議 ・外部研修への参加 ・月1回の内部研修（虐待防止、感染症対策など） ・資格取得の補助
主な行事等		・夏祭りやクリスマスなどの季節のイベント ・クッキング ・外出やお買い物体験 ・畑や花壇での野菜、お花の栽培収穫 ・防災訓練 ・交通安全教室		

支援プログラム

事業所名： ポップチャレンじ（放課後デイサービス）

作成日：令和8年4月1日

法人（事業所）理念		○子どもたちの個性を理解し、世の中で楽しく過ごしていけるようお手伝いをいたします。 ○子どもたちと関わりながら生活している、保護者や周りの大人も子どもたちを中心に楽しいと思いながら過ごせる環境を作ります。 ○子どもたちの可能性を秘めたままにせず、将来社会の一員として幸せに暮らしていくための土台作りをお手伝いします。 ○幼稚園等や普段の生活からは得られない体験や刺激を『音楽』や『遊び』の中から体験し『楽しい』という気持ちを大きく育てるお手伝いをします。		
支援方針		○幼児・児童が健康で安心して生活を送れるよう、安全で衛生的な環境を整備します。 ○人と人との触れ合いの中で愛し愛され、あたたかみのある療育を提供します。 ○様々な体験を通して子どもの心を動かし、豊かな感性を育みます。 ○音楽プログラムを通して幼児・児童の体と脳の発達を促進します。 ○安心して預けられる場を提供するため、保護者との信頼関係を築き、子どもや家庭の状況を共有し、ともに子育てを楽しく行います。		
営業時間		9時から18時まで	送迎実施の有無	あり
		支援内容		
本人支援	健康・生活	○定期的な心身の把握。（毎日の健康観察、面談や送迎時等でのご自宅や学校での様子の確認） ○健康的な生活リズムのサポートと確立。（食事、排せつ、睡眠） ○身だしなみの整え方、衣服着脱の自立、衣服や荷物の整理整頓の方法。		
	運動・感覚	○粗大運動や微細運動、感覚遊びを通じて姿勢の保持や基本的な動作の向上を目指す。 ○姿勢や運動、基本的、応用的動作能力の向上（運動療育、個別療育）		
	認知・行動	○イラストや言葉を使い1日の流れを確認することで、時間の認知形成を図る。 ○色や形、大きさなどがわかりやすい教材を使用し、認知機能の発達を促す。（個別療育、課題学習） ○こだわりや偏食への対応		
	言語・コミュニケーション	○児童が見ているもの、感じていることを共有し職員が言葉で表現することで児童の言語習得に繋げる。 ○指さし、ジェスチャーなどのボディーランゲージを用いながら、基本的コミュニケーション能力の向上を目指す。		
	人間関係・社会性	○日頃の関わりの中でアタッチメント形成を行い、1人遊び→並行遊び→共同遊びへの支援を行う。 ○職員がモデルとなり他者交流の場を設け、他者の存在や他者への興味関心に繋げていく。		
家族支援		・送迎時の会話やSNSの発信などで随時情報を共有する。 ・必要に応じて面談や療育を参観する場を設け困りごとへの相談援助を行う。 ・家族・きょうだいのイベント参加 ・家族の就労等に合わせたお預かりに対応し、レスパイト支援を行う。	移行支援	○インクルージョンに向けた取組の推進 ・地域の公園、図書館、体育館を活用し、集団活動を行う。 ・保育所や幼稚園の訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施する。
地域支援・地域連携		・散歩、イベントを通して地域の方と交流・連携を図る。 ・体育館の利用や、校庭内の畑、食堂などを交流の場として開き地域とお子さんが楽しく、安心できる居場所の提供を行う。	職員の質の向上	・毎月の職員会議 ・外部研修への参加 ・月1回の内部研修（虐待防止、感染症対策など） ・資格取得の補助
主な行事等		・夏祭りやクリスマスなどの季節のイベント ・クッキング ・外出やお買い物体験 ・畑や花壇での野菜、お花の栽培収穫 ・防災訓練 ・交通安全教室		